

經濟水道委員會

說明資料

平成27年9月25日
市民經濟局

目 次

頁

1	名古屋城天守閣整備にかかる想定スケジュール	1
2	市民への説明会の概要	2
3	技術提案・交渉方式	3
4	概算経費及び経済波及効果	6
5	他城郭の比較（市長による調査結果）	8
6	名古屋城天守閣整備に関する調査	10
7	平成24年度名古屋城天守閣木造復元概算経費・工期算出調査による 工期	11
8	名古屋城天守閣にかかるフォーラム等の開催実績	12
9	平成27年度名古屋城天守閣フォーラム	15
10	石垣に関する考え方	15
11	名古屋城天守閣整備にかかる財源	16

《添付資料》

江戸城天守再建に係る経済効果等調査報告書（抜粋）

平成27年度名古屋城天守閣フォーラムの当日資料

1 名古屋城天守閣整備にかかる想定スケジュール

区 分	内 容
平成27年11月	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-right: 10px;">技術提案の募集</div> <div style="font-size: 2em;">←</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-left: 10px;">学識経験者の 意見聴取</div> </div>
平成27年12月 ～平成28年3月	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 100%;">タウンミーティング等</div>
平成28年3月	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-right: 10px;"> 技術提案の審査・評価 優秀提案の選定 (工期・工程・概算事業費等) </div> <div style="font-size: 2em;">←</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-left: 10px;">学識経験者の 意見聴取</div> </div>
平成28年4月 ～平成32年7月	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px; width: 100%;">議会への報告</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px; width: 100%;">市民アンケート</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px; width: 100%;">議案の提出 (設計費予算)</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px; width: 100%;">基本協定締結・設計業務委託契約</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px; width: 100%;">設計の実施</div> <div style="display: flex; align-items: center; margin-bottom: 5px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-right: 10px; width: 100%;">価格等の交渉</div> <div style="font-size: 2em; margin-right: 10px;">←</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-left: 10px; width: 100%;">学識経験者の 意見聴取</div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px; width: 100%;">議案の提出 (工事費予算)</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px; width: 100%;">議案の提出 (工事契約)</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px; width: 100%;">工事請負の契約</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px; width: 100%;">工事着手</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 100%;">天守閣竣工</div> </div>

注 石垣工事は継続して実施

2 市民への説明会の概要

(1) タウンミーティング等

区 分	内 容
時 期	平成27年12月～平成28年3月
方 法	16区で実施するほか、地域からの要望等により、きめ細かな説明方法を検討して実施
場 所	16区の区役所講堂等
参加者	数十人から200人程度を想定
説明内容	<ul style="list-style-type: none"> ・天守閣の現状・課題・過去の調査結果 ・技術提案・交渉方式の調査内容 ・経済波及効果 など
聴取内容	天守閣の整備に対する意見 など

(2) 現場見学会

区 分	内 容
時 期	平成28年1月～3月
場 所	名古屋城内
参加者	延べ200人程度を想定
説明内容等	<ul style="list-style-type: none"> ・天守閣及び石垣等の見学 ・天守閣の現状・課題・過去の調査結果 ・技術提案・交渉方式の調査内容 ・経済波及効果 など
聴取内容	天守閣の整備に対する意見 など

3 技術提案・交渉方式

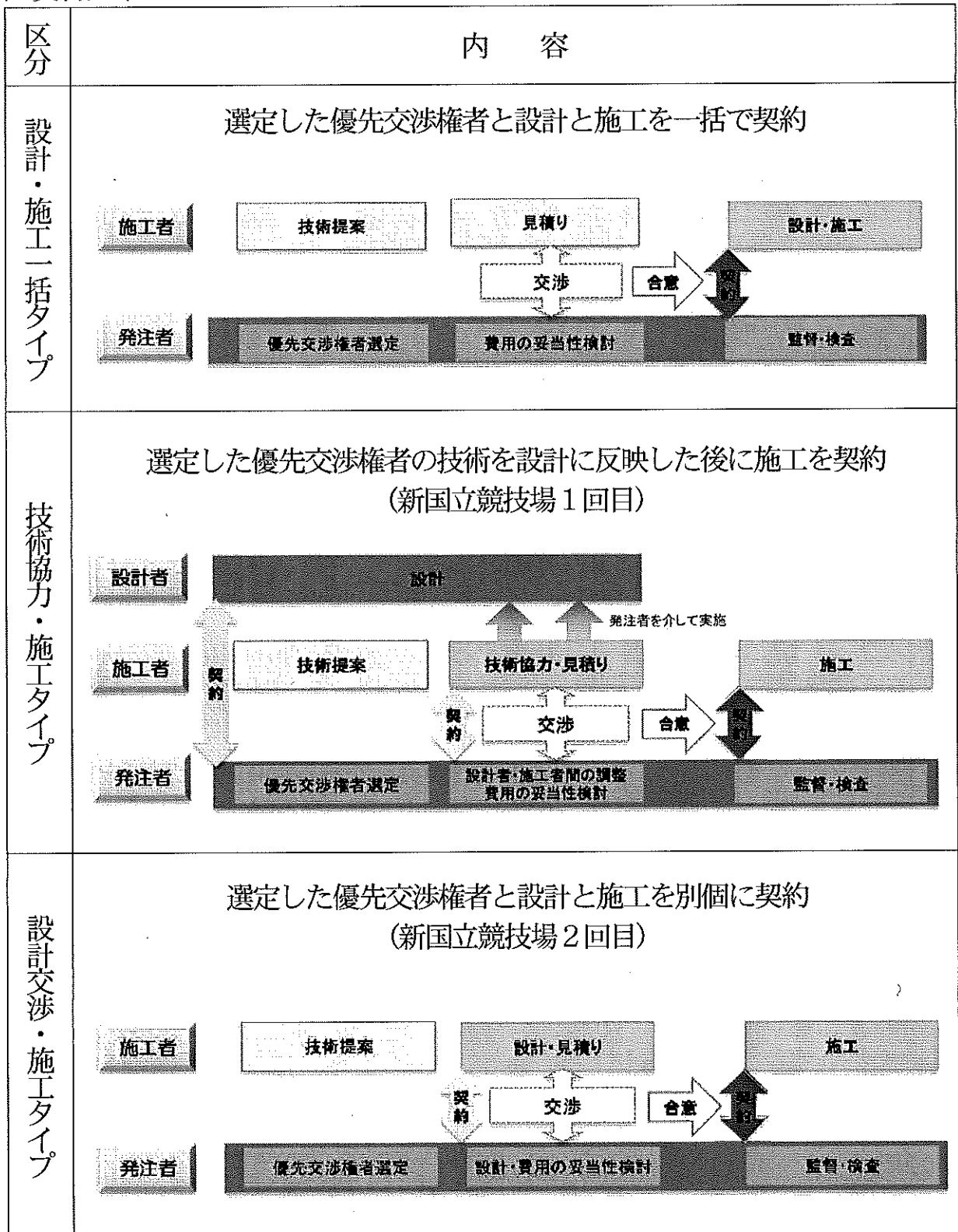
(1) 採用した理由

- | |
|--|
| <ul style="list-style-type: none">・劣化した石垣や既存ケーソン基礎の取扱いなど様々な課題があり、仕様の確定が困難である・特別史跡内に大規模木造建築物を復元する工事であるため、最も優れた技術提案によらなければ工事目的の達成が難しい |
|--|

(2) メリット、デメリット

区 分	内 容
メリット	<ul style="list-style-type: none">・これまでになかった厳しい条件下で、高度な技術が必要とされる工事の施工が可能である・施工業者がノウハウを活かして設計を行うことから、効率的な施工が可能となり、工期の短縮に繋がる
デメリット	<ul style="list-style-type: none">・提案する目的物の品質・性能と価格等のバランスの判断が困難となり、発注者にとって過剰な品質で高価格な提案となる恐れがある・施工業者が実施する設計に対し、的確な判断や指示を行う能力が発注者に必要となる

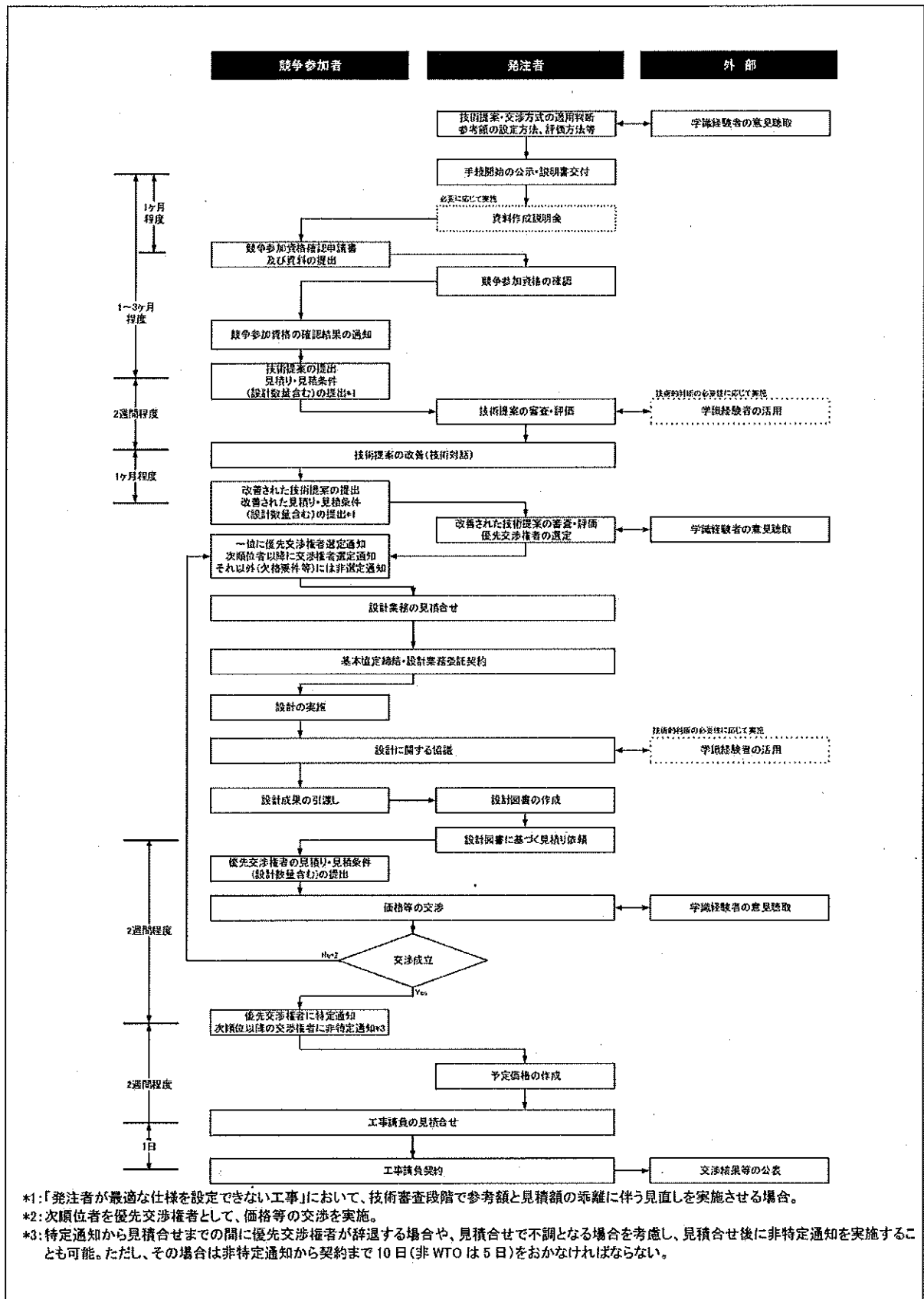
(3) 契約タイプ



注1 本市では契約の前に予算等の議決が必要

2 名古屋城天守閣整備は「設計交渉・施工タイプ」を想定

(4) 設計交渉・施工タイプの手続フロー



注 「国土交通省直轄工事における技術提案・交渉方式運用のガイドライン」より

(5) 平成26年度の調査における仕様設定が困難な主な事項

<ul style="list-style-type: none"> ・バリアフリーへの対応 ・大径木等の調達 ・既存ケーソンなど基礎構造の取扱い ・史跡保護を踏まえた工事仮設計画
--

(6) 提案募集の内容案

区 分	内 容
工事内容	<ul style="list-style-type: none"> ・現天守閣解体工事 ・本体工事 ・石垣工事
提案内容	<ul style="list-style-type: none"> ・業務実施方針 ・概算事業費 ・木材の調達 ・工程計画 ・構造計画 ・仮設計画 ・バリアフリー化 ・復元過程の公開方法 ・現天守閣の記憶を後世に伝える方策 など
設定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・2020年7月までに天守閣を竣工すること ・原則として国産材を使用すること（調達困難な場合は代替案を提示） ・石垣などの遺構を傷つけないこと ・来場者の安全を確保すること など

4 概算経費及び経済波及効果

(1) 木造復元及び耐震改修

区 分	木造復元	耐震改修
概算経費	約270～400億円	約29億円
建設工事による 経済波及効果	約530～780億円	約60億円
入場者数の増加に よる経済波及効果	約100億円 (約165万人)	—

注 木造復元による入場者数の増加は、名古屋城本丸御殿に関する調査を参考として算出

- (2) 復元的整備（木造によるできうる限り史実に忠実な復元ではなく、外観を復元しつつ、屋内の利活用の観点から内部の意匠・構造を変更して、建築物その他の工作物を遺跡の直上に再現する行為）

区 分	内 容
概算経費	約108億円
建設工事による 経済波及効果	約210億円
入場者数の増加による 経済波及効果	約20億円 (約31万人)

注1 復元的整備には多様なものがあるため、仮に鉄骨鉄筋コンクリート造による現天守閣相当のものと想定し算出

2 入場者数の増加は、平成2年の名古屋城天守閣の改修工事前後の入場者数を参考として算出

3 文化庁の見解によれば「天守の再建については、整備主体である地元の自治体がどのような内容の整備を行うか考えることが第一」「その上で、天守を復元する場合は、原則として材料等は同時代のものを踏襲する必要があるが、それ以外の可能性を排除するものではない」「名古屋城天守閣については、往事の資料が十分そろっていることを踏まえると、いわゆる復元検討委員会において木造によるできうる限り史実に忠実な復元をすべきとの意見が出される可能性が極めて高いと考えられる」とされている

(3) 経済波及効果の算出方法

- ・ 建設工事による経済波及効果は、総務省が平成23年度産業連関表のデータから作成した経済波及効果の簡易計算ツールを用いて算出した
- ・ 入場者数の増加による経済波及効果は、「名古屋市観光客・宿泊客動向調査（平成25年度）」及び簡易計算ツールを用いて単年度ベースで算出した

5 他城郭の比較（市長による調査結果）

(1) 整備前後の入場者数等

区 分		熊本城	姫路城	掛川城	大洲城
整備内容		本丸御殿 一帯整備	大天守 保存修理等	天守復元	天守復元
事業費 (千円)		5,379,900	3,692,475	2,218,060	1,594,276
入場者数 (人)	着工前	790,853	1,195,004	7,944	—
	竣工後	2,219,517 (2.8倍)	2,000,000 (1.7倍)	494,170 (62.2倍)	85,952
	26年度	1,631,690 (2.1倍)		117,374 (14.8倍)	27,162
入場料収入 (千円)	着工前	293,892	580,075	1,116	—
	竣工後	854,614 (2.9倍)	2,563,016 (4.4倍)	129,785 (116.3倍)	24,138
	26年度	662,825 (2.3倍)		39,063 (35.0倍)	11,716
売店等収益 (千円)	着工前	88,679	97,470	—	—
	竣工後	346,318 (3.9倍)	200,000 (2.1倍)	—	1,896
	26年度	290,225 (3.3倍)		6,500	1,791

注1 () 書きは着工前と比較した伸び率

2 姫路城は平成27年3月27日から公開のため、「竣工後」及び「26年度」欄は平成27年度の予想値

3 掛川城の売店は平成25年までは未設置

(2) 財源内訳

(単位：千円)

区 分	財 源	金 額	割 合
熊本城本丸御殿一带整備	補助金	1,565,688	29.1%
	地方債	1,798,600	33.4%
	寄附金	1,019,372	19.0%
	一般財源等	996,240	18.5%
	計	5,379,900	100.0%
姫路城大天守保存修理等	補助金	1,794,650	48.6%
	地方債	131,200	3.6%
	寄附金	422,229	11.4%
	一般財源等	1,344,396	36.4%
	計	3,692,475	100.0%
掛川城天守復元	補助金	50,000	2.3%
	地方債	1,210,000	54.6%
	寄附金	500,000	22.5%
	一般財源等	458,060	20.6%
	計	2,218,060	100.0%
大洲城天守復元	補助金	9,200	0.6%
	地方債	859,300	53.9%
	寄附金	446,500	28.0%
	一般財源等	279,276	17.5%
	計	1,594,276	100.0%

(3) 江戸城天守閣を再建する場合の事業費等

・事業費	約350億円
・経済波及効果	初年度で約1,000億円
・雇用創出効果	約8,000人

注 認定NPO法人江戸城天守を再建する会「平成25年度事業報告書」による

6 名古屋城天守閣整備に関する調査

(1) 概要

(単位：千円)

年度	区 分	委 託 先	決算額
24	天守閣木造復元概算経費・工期算出調査 ・概算経費・工期	(有)建築文化研究所	893
	天守台測量調査 ・水準、基準点測量の実施 ・図面の作成	(株)パスコ	2,580
25	名古屋城整備課題調査 ・博物館機能の調査 ・工事期間中の入場者数への影響調査 ・木造復元にかかる廃棄物の調査	(株)地域計画建築研究所	2,037
26	名古屋城整備検討調査 ・文化財・展示物等移転方針の検討 ・既存建築物取り扱い方針の検討 ・石垣保存方針の検討 ・建築方針の検討 ・施設のあり方方針の検討	(株)大建設計名古屋事務所	14,267 (見込)

(2) 平成26年度における主な調査

区 分	内 容
文化財・展示物等移転方針の検討	・平成23年度「名古屋城展示・収蔵あり方調査業務」及び平成25年度「名古屋城整備課題調査」の報告書を分析
既存建築取り扱い方針の検討	・現天守閣の図面等の確認及び解体手法の比較検討
石垣保存方針の検討	・現地調査及び業者ヒアリング
建築方針の検討	・木材専門家へのヒアリング及び参考文献による調査 ・昭和実測図及び昇降機関係の資料分析 ・現天守閣の図面の確認及び現地調査による基礎及び工事仮設計画の検討
施設のあり方方針の検討	・各種統計資料などの分析 ・現地調査による工事ヤード及び入場者動線の検討

7 平成24年度名古屋城天守閣木造復元概算経費・工期算出調査による工期

区 分	工 期
解体工事	約3年
石垣工事	約9年
復元工事	約6年
全 体	約18年

8 名古屋城天守閣にかかるフォーラム等の開催実績

(1) 平成27年度

<p>名 称</p>	<p>名古屋城天守閣フォーラム ～名古屋城自慢—DJ対決— つボイノリオ VS. クリス・グレン～</p>
<p>内 容</p>	<p>名古屋城に造詣が深いDJによる名古屋城自慢対決を行った後、市長を交えて名古屋城対談を実施</p> <p>日 時：平成27年8月29日（土）13:00～15:30 場 所：名古屋能楽堂 出席者：コーディネーター 瀬口 哲夫（名古屋市立大学名誉教授） パネリスト つボイノリオ（ラジオパーソナリティー） クリス・グレン（ラジオDJ／タレント） 河村 たかし（名古屋市長）</p>
<p>主な意見</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「木」にしていただきたいと強く思う。残していく価値はそこにこそあると思う。もっとアピールできる方を選人すると良い ・当時の姿を復元できるなら、見てみたい ・現在のままで全く問題はないと思う ・現在の天守閣を今後大切に保存していただきたいと思う
<p>執行額</p>	<p>1,235,210円（名古屋城費「運営管理」から支出）</p>

(2) 平成26年度

名 称	名古屋城天守閣フォーラム ～木造復元について考える～
内 容	<p>建築・城郭・木材・文化財保存修復などの専門家を招き、天守閣を木造復元することの意義や課題について、パネルディスカッションを実施</p> <p>日 時：平成26年9月6日（土）13:00～15:40 場 所：名古屋市公館1階 レセプションホール 出席者：コーディネーター 瀬口 哲夫（名古屋市立大学名誉教授） パネリスト 安藤 直人（東京大学特任教授（名誉教授）） 千田 嘉博（奈良大学学長） 麓 和善（名古屋工業大学大学院教授） 三浦 正幸（広島大学大学院教授） 河村 たかし（名古屋市長）</p>
主な意見	<ul style="list-style-type: none">・ぜひ木造天守閣を実現してほしい・“尾張名古屋は城でもつ”と言われるように天守閣は名古屋のシンボルである。一刻でも早く本来の木造で復元すべき・400～1,000年残る天守を建築するのであれば、急いで計画するよりも十分に時間をかけて再建してほしい・天守閣を建て替える必要性がまだ感じない。やるならば多聞櫓や馬出の復元が望ましい
決算額 (見込)	814,166円（名古屋城費「運営管理」から支出）

(3) 平成23年度

名 称	名古屋城の将来を語る市民大討論会
内 容	<p>名古屋城の目指すべき将来像、名古屋城天守閣の木造復元について、市民、有識者、市長による議論を実施</p> <p>日 時：平成24年2月19日（日）10:00～13:15 場 所：名古屋市公館1階 レセプションホール 出席者：コーディネーター 瀬口 哲夫（名古屋市立大学名誉教授） パネリスト 片岡 靖夫（中部大学教授） 古池 嘉和（富山大学教授） 麓 和善（名古屋工業大学大学院教授） 山本 勝子（知多ソフィア観光ネットワーク代表） 河村 たかし（名古屋市長）</p>
主な意見	<ul style="list-style-type: none">・日本の歴史的文化遺産として後世に残すためにも木造天守閣は必要・木造天守閣は名古屋市民の未来の象徴となるので賛成・東北隅櫓、多聞櫓の復元を優先すべきで、天守閣の木造復元はその後に考えること・現在の天守閣はベビーカーや車いす、高齢者の方も多く入場されるが、木造復元するとバリアフリーにならない
決 算 額	2,205,150 円（名古屋城費「運営管理」から支出）

9 平成27年度名古屋城天守閣フォーラム

(1) 経費内訳

(単位：円)

区 分	内 容	執 行 額
運営費	会場設営、看板作成等	496,800
出演者関係費	出演料、旅費等	634,410
会場費	名古屋能楽堂使用料	104,000
計		1,235,210

(2) 参加者の募集方法

広報なごや7月号
名古屋城公式ホームページ

10 石垣に関する考え方

(1) 文化庁

「石垣整備のてびき(文化庁文化財部記念物課監修)」において、城の石垣は「歴史の証拠」及び「安定した構造体」としての価値を有するとされている

(2) 本市

天守台石垣は、特別史跡を構成する重要な遺構であり、築城当時(慶長期)及び江戸中期(宝暦期)の改修時の姿、更には戦災の痕跡をとどめており、歴史的価値が高いものとする

1.1 名古屋城天守閣整備にかかる財源

(1) 基本的な考え方

- ・国や県に対し、天守閣整備の意義や重要性を丁寧に説明し、必要な措置を講じるよう積極的に要望していく
- ・名古屋城は本市のシンボルであり、市民の機運醸成を図ることなどにより、広く財源確保に努める

(2) 想定される財源項目

区 分	内 容
国・県支出金	<ul style="list-style-type: none">・国土交通省所管の社会資本整備総合交付金、文部科学省所管の文化財補助金が対象として考えられるため、必要な措置を講じるよう積極的に要望していく (社会資本整備総合交付金及び文化財補助金の補助率はそれぞれ50%)・愛知県に補助制度の創設を積極的に要望していく
地 方 債	<ul style="list-style-type: none">・地方債の活用を検討していく (地方債の充当率は、国庫補助事業のうち社会資本整備総合交付金事業をはじめとする公共事業等の場合90%、その他の場合は75%)
寄 附 金	<ul style="list-style-type: none">・市民や企業等の理解と協力をいただきながら、広く寄附を募る
一 般 財 源	<ul style="list-style-type: none">・市税など